

平成 29 年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立花の文化園	指定管理者：住友林業緑化・E-DESIGN 共同企業体	指定期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日	所管課：環境農林水産部農政室推進課
----------------	-----------------------------	---------------------------------------	-------------------

評価項目	評価基準（内容）	実施予定年度	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価	評価委員会の指摘・提言	
				評価 S～C			
一 提案の履行状況に関する項目  施設の位置づけや特性、社会的役割等効用を最大限発揮するための方策	(1)花きを収集し、栽培し及び展示する業務	①絶滅危惧種や希少植物の収集	H30	H29:H30 年度に向け危惧種・希少種の植物園間での交換手続きを行った。		・昨年度に引き続き、エントランス、装飾花壇、園路沿いの花壇の植栽面積を増やし、より多くの花が観賞できるようになったことは高く評価できる。また、標本展示ゾーンの同定については引き続き実施されたい。調査結果を基に植栽展示を充実されることを期待している。 ・装飾花壇の勾配変更については、来園者やボランティアの意見をよく聴き、また改修の意図を十分に伝え、よりよい展示へと磨き上げてほしい。 ・大温室のコレクションガーデンは、来園者に植物の文化を紹介できているので評価できる。ただ、室内の他のゾーンと比べ植栽面積が少ないため、見せ方を工夫されたい。 ・花の散歩道の QR コード記載については、予算を確保の上、対応されたい。	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。
		②ゾーニングの変更					
		〈エントランスゾーン〉 ・プランターによる演出（季節毎に植替）	H28～H30	H28:老朽化の激しいテラコッタドール及びクジラのオブジェを撤去し、花の少ない夏期の魅力向上のためシロバナサルズベリ、ベニバナスモモ（2本）を植栽した。エントランスゲート外の花壇の芝生を常緑化し、季節ごとに花を植え替えることで、おもてなしの空間演出を行った。エントランスゲートを入った広場にテラコッタ鉢を設置、花による季節ごとの演出を行った。 H29:エントランスゲート花壇の芝生を部分的に切り取り、花苗を植栽し華やかにした。エントランスゲート周辺に、特大テラコッタを置き、季節の花を中心にした寄せ植えをして、お客様をお迎えした。			
		・花壇の整備	H29, H30	H28:装飾花壇のデザイン変更を行った。常緑の芝生や低木を加え、花の空間の中に入ることができることで、より花を身近に楽しんでもらえるような花壇とした。 H29:装飾花壇内に敷いた白玉砂利を撤去し植栽部分を増やした。花の湧きたつようなボリュームを見せたい為、細かく区切られていた植栽柵を大きなサイズに変更した。			
		〈ガーデンゾーン（メイン園路沿い）〉 ・現況撤去、ガーデン新設	毎年	H28:園路沿いに設置されていたプラスチックプランターを撤去、流れ末端に花壇を新設し、シェードガーデンから花壇をつなげることで、花の演出スペースを増やした。園路沿いに寄せ植えをしたテラコッタプランターやハンギングバスケットを設置し、季節ごとに花の植替えを行った。球根園横の園路沿い花壇の低木を撤去し、季節の花を見ていただけるような花壇を整備した。 H29:園路沿いの花壇の砂利を撤去し、花の植栽面積を増やし季節の花いっぱいのお客様をお迎えした。			
		〈標本展示ゾーン〉 ・既存植物の同定	H28, H29	H28:ボタン、シャクヤク、ハス、アジサイ、ウメ、クリスマスローズの品種同定及び数量確認を行った。 H29:モミジ谷、温室、バラ園等、品種同定及び数量確認を行った。絶滅危惧種の同定が一部未実施であるため、来年度以降、引き続き実施する。			
		・補充及び展示の整備	H28, H30	H28:ツバキ、ボタン、クリスマスローズを補充。 H29:大温室にてサクラソウ展、マドンナリリー展、ギボウシ展、変化朝顔展、ネリネ展、クリスマス展、冬咲きチューリップ展を開催。樹木を撤去して展示スペースとして整備した。			
		・サインの設置	H29, H30 (H28 延期)	H29:劣化が激しかった植物サインはデザインを統一し刷新した。			

③わかりやすい展示					
〈園内サインの統一デザイン化〉 ・ガーデンゾーンの植物サインの新設(花の散歩道のQRコード記載)	H28, H29	H28: 装飾花壇、花時計に植物サインを設置した。 H29: 劣化が激しかった植物サインはデザインを統一し刷新した。QRコード植物検索での花の散歩道へのリンクについては、H30年度中に園内にパソコン閲覧場所を設置し対応する予定。			
・園の案内サインの再整備	H29, H31	H29: 園内外に「のぼり」を設置、奥河内くろまるの郷の駐車場に「花の文化園駐車場の看板」を設置し、誘導を図った。 エントランス上部に遠くからでも視認できる「はなぶん」看板を設置した。 園内マップ案内看板を、より細部までわかるようにデザインを刷新した。 ゾーンに属する主要な植物の文化や歴史を掲載した案内サインを設置した。			
・標本展示ゾーンの植物サインの再整備(花の散歩道のQRコード記載)	H28, H30	H28: ボタン園、ツバキ園に植物サインを設置した。 H29: 劣化が激しかった植物サインはデザインを統一し刷新した。QRコード植物検索での花の散歩道へのリンクについては、H30年度中に園内にパソコン閲覧場所を設置し対応する予定。			
④園内樹木について、樹木医による危険木調査を実施					
園内樹木について、樹木医による危険木調査を実施	H29, H31	H28: 樹木医による園内樹木の調査を実施。樹木の状況の把握と園に適応した管理のアドバイスを受けた。モミジ谷の低木について過密気味との調査結果を受け、強剪定を実施した。 H29: 調査で危険と診断されたエドヒガンザクラ1本を伐採した。			
⑤個別植栽エリアの改修、拡張、充実					
〈装飾花壇〉 ・花壇の勾配変更	H29	H29: 勾配変更の図面は作成済み。勾配変更工事時期がイルミネーション開催期間(12/15～3/4)と同時期になったため、工事はH30年度に延期する。			
・背景樹木の植栽	H29 (H28 延期)	H29: 今年度中にサクラを植栽予定。			
〈花時計〉 ・勾配変更	H29	H28: 花時計奥のゴールドクレストを伐採し、温室の内部が屋外から見られるようにした。伐採により、温室に太陽光が入るようになり乾燥温室のサボテン類の成長が改善された。 H29: 時計機器の移動が配線等の老朽化により困難である為、花時計を背景に写真撮影等、インスタ映えする場所として別途製作する事業に変更。			
〈バラ園〉 ・アーチ及びトレリスの新設	H30, H31	H29: 実績なし			
・株のボリュームを増加する管理の実施	随時	品種数は保持し、株が混んでいるところは間引きをして風通しを良くし、栄養豊富な土作りをし、株が良好に育つ様な管理を実施。間引き株は鉢上げをし、花期には展示をする。			
〈梅園〉 ・間引き	H29, H30	H29: 間引きによる管理を変更し、高頻度剪定を行う事により生育環境の改善を図る。H29, H30年度とも花後に剪定予定。			
・低樹高化のための切り戻し	H29, H30	H28, H29: 4月の花後に、切り戻しを実施した。			
〈香りの丘〉 ・香りのある植物の補植	H30～H32	H28: 既存樹木の剪定及び下草等の整理を行った。 H29: 香りのあるサザンカ、シャクヤクの補植をおこなった。			

			<p>〈大温室〉 ・温室植物の補植</p>	H29, H31	<p>H28:温室エントランスを「洋ラン展示ゾーン」とし、河内長野愛蘭会の会員の協力を得て、花の咲いた株を預かり受け、花の咲いている株を順次入れ替えて展示。会員の方の日頃の成果を発表する場を広げることに協力している。また、各種アンスリウムを展示し、順次熱帯花木の補植を予定。「熱帯展示ゾーン」ではポポーなどの食べられる植物、ジンジャーやガランガ、ココカシアなどの熱帯、亜熱帯地方に生育する植物を補植した。</p> <p>H29:熱帯温室の植栽充実を図るため、サトイモ科、ショウガ科植物を新規に導入、植栽した。ゲスネリア、ベゴニア等保有している温室草花を繁殖し展示の充実を図った。過繁茂していた樹木類、つる性植物の整枝、剪定を行い樹形を整えた。</p>			
			・ベンチの設置	H31	H29:実績なし			
			・文化を紹介するサインの設置	H29	H29:大温室にコレクションガーデンを整備し、企画展（植博：しょくはく）を実施。植物文化に関する情報を展示紹介した。			
			<p>〈もみじ谷〉 ・園芸品種の導入</p>	H30	<p>H28:遊歩道の舗装、写真スポットの新設、老朽化した東屋を撤去し、イロハモミジを補植した。</p> <p>H29:実績なし</p>			
			・樹名札の設置	H31	H29:H31年度に先立ち、モミジや低木類に樹名札を設置。			
			<p>〈クレマチスガーデン〉 ・支柱の刷新</p>	H29, H30	H29:実績なし。遊具撤去跡を整備し、植栽面積の拡大を行うため、来年度に支柱を刷新する予定。			
			<p>〈コミュニティガーデン〉 ・ガーデンを整備し、カフェの設置</p>	H30	H29:来年度カフェエリアのオープンに向け、既存樹木を撤去し敷地調査を実施。			
			<p>〈球根園〉 ・3種の球根ガーデンに改修</p>	H29	<p>H28:花後に球根を堀上げ、同定を実施。</p> <p>H29:花摘み園整備のため、キッチンガーデンは今後エリアの見直しを行うこととし、従来の球根園をテーマごとにパレットガーデン、ダリアガーデン、メドウガーデンに新設、配置改修を行なった。また、車椅子対応の回遊路に改修した。</p>			
			・植物を活用した講習会の実施	H30～H32	H29:実績なし			
			<p>〈ハーブ園〉 ・ハーブの補植</p>	H30	<p>H28:園内で生産したハーブ苗を随時補植及び展示。</p> <p>H29:日照条件を考慮して、今年度中に野草園に移設、来年度にラベンダー等を補植して触れて香りを楽しめるハーブ園をめざす。ハーブ園跡地は、万葉植物を整備する。</p>			
			・講習会の実施	H31, H32	H29:季節に合わせた観察会の中で「ハーブの観察会」を実施した。ハーブティーやハーブクッキーを提供し、参加者にはハーブに関する知識を楽しく、おいしく深めてもらうことができた。			
			<p>〈芝生広場〉 ・桜の補植</p>	H29, H30	H29:既存のサクラの間に幼木を9本植栽。それぞれが別の品種であり芝生広場には植栽されていなかった品種を補植し、春の華やかさを補強した。			
			・芝生の整備、養生	毎年	H29:遊具撤去跡を整地し芝生の播種を行なった。芝生地に姫高麗芝を植栽。管理用の農機なども導入し、芝生の質を保っている。			
			<p>〈バックヤード〉 ・バックヤード見学会の実施</p>	H29～H32	H29:企業見学会、団体見学会時に3回実施。3月の府政学習会にて実施予定。			

		⑥高木密度の適正化				
		・景観改善のための伐採・剪定	毎年	レストラン、芝生広場、モミジ谷周囲樹木の伐採、剪定を実施。		
		・樹木の健全性維持のための伐採、剪定	毎年	アジサイ園内の過密になり下に陰を落としていた杉の剪定を行い、杉本体とアジサイの状態の健全化を図った。		
(2)花きに関する講習会、展示会及び品評会等を開催する業務	①これまでに引き続き開催する講習会等				A	
	・不思議植物展	毎年	食虫植物をはじめとする植物の不思議な生態を解説パネルとともに実際に触ったり、虫眼鏡等で観察できる展示で紹介した。8/8(火)～8/20(日)の期間中、食虫植物を使った子ども向けの寄せ植え体験教室を2日間開催。期間中入園者数は、2,479人。	<p>・これまでに引き続き開催する講習会等については、提案どおり開催されている。</p> <p>特に、夏休み子ども講座は、「はなぶんサマースプラッシュ」と題して広くPRし、子どもも大人も楽しめるイベントを数多く開催しているため、高く評価できる。</p> <p>・新たに開催する講習会等については、「和菓子の手作り教室」と「ハーブガーデンのポプリづくり」は開催されていないが、提案以外の講習会も多数開催されているため評価できる。</p> <p>・「はなぶん昆虫観察会」など子どもに人気のあるイベントを増やし、ファミリー層の集客増を図りたい。</p>		
	・夏休み子ども講座	毎年	「はなぶんサマースプラッシュ」の一環プログラムとして、「夏休みキッズワークショップ」を開催。7/22(土)～8/27(日)の期間中、週末の13日間実施した。小さなお子様から楽しめる23種類の体験教室に1,329人の参加があった。昆虫観察会や冒険クイズラリーなどを同時開催することで集客アップを図った。			
	・花の文化園写真コンテスト作品展	毎年	「花の文化園写真コンテスト作品展」を、8/29(火)～9/18(月・祝)に実施した。園内で撮影された写真を対象とし、4月から5月に募集した。応募者数は177点の内、68作品を展示。展示期間中の入園者数は2893人。			
	・イルミネーション	毎年	「奥河内イルミネージュ」を12/15(金)～3/4(日)まで共催で実施。主催団体と協力することで、花壇への負担を軽減しつつお客様に楽しんでもらえる演出を行った。昼夜共通チケットの販売を行うことで、日中と夜間の両方を楽しめるようにした。2月上旬時点で、総入園者数は、12,000人程度。			
	・幼児、小中学生花の絵画展	毎年	「幼児、小中学生花の絵画展」を1/5(金)～2/4(日)に開催。4月より画用紙の無料配布、画板の貸し出しを行い、夏休み期間中には絵画の指導員を迎えて、写生大会を2回実施した。園内を写生した応募作品409点の中から審査により150点(内、特別賞10点)を展示。また1/5～21の期間では、入園者の投票により上位30点(投票総数1,233票)を花の文化園賞として表彰した。展示期間中の入園者数は、3,283人。			
	・春を告げる盆梅展	毎年	2/6(火)～2/18(日)まで盆梅展を開催。園内で生育させた盆梅を万葉集や枕草子などの古典文学に見られる梅の和歌や文章と合わせて展示を行った			
	・クリスマスローズと春の草花展	毎年	「クリスマスローズと春の草花展」は2/20(火)～3/4(日)に開催する。園でみられるクリスマスローズの一覧も合わせて展示することで、クリスマスローズ園の案内も行う。上記以外もイベントホールの展示やその他施設を利用した外部団体主体のイベントについても、ポスター掲示や園のチラシへの案内の掲載、Facebook等でPRしている。			
	②新たに開催する講習会等					
	・和菓子の手作り教室	毎年	H29:実績なし			
・日本の花文化を知るミニ盆栽教室	毎年	植物アレンジレッスンの中で、「吊りしのぶづくり」(6/11)、「山野草を使った寄せ植え体験」(3/11)を開催した。				
・子ども向け押し花教室	毎年	「はなぶんサマースプラッシュ」及び「奥河内秋の文化祭」の子ども向けワークショップの中で、「押し花ファイルづくり」、「植物標本づくり」を実施した。				
・園の植物を活用した草木染講習会	毎年	植物アレンジレッスンの中で「草木染めワークショップ」(9/10)を開催した。親子で参加でき、1日で完結するように内容を工夫して行った。				
					・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。	

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・花模様の雑貨展示会 毎年 イベントホールにおいて「花と趣味の切手展」や「春の押し花展」など植物や花に関わりのある雑貨の展示を行った。</li> <li>・寄せ植え教室 毎年 植物アレンジレッスンの中で、観葉植物、食虫植物、多肉植物、球根及び山野草を使った寄せ植え教室を開催した。参加者が飽きないように毎回内容を変えており、親子で参加できるものも増やした。</li> <li>・リース作り教室 毎年 植物アレンジレッスンの中で、「グリーンリースづくり」を開催した。また、親子で参加できるように、リースよりも簡単な「スワッグづくり」を開催した。材料として園内の植物も活用した。</li> <li>・キッチンガーデンを活用した食育 H30, H32 H29:実績なし</li> <li>・園で見られる生きものの教室 H29～H32 自然かんさつ会を月1回開催した。毎回テーマを変えることで、園内の魅力発信とともにリピーターも多く獲得できている。また、「はなぶんサマースプラッシュ」では、「はなぶん昆虫観察会」を2回開催した。外部から講師を招いて昆虫標本づくりと園内の生き物観察会を行い、両講座ともすぐに満席となる人気講座であった。</li> <li>・花の写真教室 毎年 外部の写真教室を受け入れている。</li> <li>・手作りアート教室 毎年 季節ごとに子どもを対象としたワークショップを開催した。 6月 ハッピーフラワーワークショップ (8日間 参加者: 160人) 7・8月 キッズワークショップ (13日間 参加者: 1329人) 11月 ものづくりワークショップ (11日間 参加者: 746人) 12月 クリスマスワークショップ (2日間 参加者: 50人)</li> <li>・ハーブガーデンのポプリづくり H29～H32 H29:実績なし</li> </ul>				
	(3)花きに関する講習会、展示会及び品評会等のため、花の文化園の施設を府民の利用に供する業務	①申し込み方法の簡略化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し込みフォーム及び空室情報を掲載したホームページの開設 H28 H28, H29: 電話や窓口受付に加え、ホームページ上での貸出施設の案内及び申し込みの受付業務を実施。また、各貸出施設の空き情報をホームページ上で確認できるよう日々更新作業を行っている。</li> <li>・登録制度の新設(窓口及びFAXでも引き続き受付) H28 H28, H29: イベントホール貸出については、利用者の連絡先情報を蓄積し、次年度募集の際に一括で案内できるよう情報管理している。</li> </ul>				
		②対象施設のPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の写真を掲載したホームページの開設(施設利用の提案及び展示アドバイスは随時) H28 H28, 29: 貸出施設の情報は写真とともに利用料金もホームページ上に掲載。施設利用者とは、事前の打ち合わせを行うことでスムーズな運営体制を構築している。施設利用者のイベントを園内放送や季刊誌に掲載することで支援している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ(特にトップページ)において、貸出施設の貸出しを行っていることをよりわかりやすく表示するなど、より効果的な利用促進を図りたい。</li> <li>・「スプリングラー」や「野外映画鑑賞会」など芝生広場を活用した新たな集客イベントを開催していることは高く評価できる。今後の利用増に期待したい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。</li> </ul>

		③屋外スペースの積極的な活用					
		・芝生広場及びイベント広場の利用誘致（広報誌に掲載等）	毎年	<p>芝生広場をメインとしたイベントとして、「はなぶんサマースプラッシュ」（7/22-8/27）と「奥河内秋の文化祭」（11/3-5, 11, 12, 18, 19, 23-26）を開催した。</p> <p>「はなぶんサマースプラッシュ」では、毎日スプリンクラーを設置し、夏休みの子どもたちの遊び場とし賑わいを創出できた。また期間中に「はなぶんファンタジーシネマ」として屋外映画鑑賞会を実施。新たな植物園の魅力を発信した。期間中子どもの入園者数は昨対比221.4%となった。</p> <p>奥河内秋の文化祭では、ワークショップをはじめ、ダンボール迷路や動物ふれあい体験など、20種類以上のイベントを芝生広場で行った。期間中の子ども入園者数は昨対比で480.0%と大いに賑わった。</p> <p>他にも、外部団体によるフラダンスイベント、講習会の実施などを誘致することができた。イベント広場では、春秋のフラワーコンサートの利用に加え、外部団体によるマルシェを実施した。</p>			
(4)花きに関する相談及び指導を行う業務		①相談所の設置		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来園者以外からの相談受付については、提案どおり整備されている。</li> <li>・相談所の設置について、提案どおりではないものの、図書室及び保有資料の有効活用に向けた取組がなされている点は評価できる。より一層有効活用が図られるよう、努力されたい。</li> </ul>	B	
		・図書館の再整備（センター棟ホールに拡張、専門職員を常駐）	H29 (H28 延期)				H29:図書室横にキッズルームを設置し、保護者の待ち時間の利用も含め、ロビーからの誘引を図った。イベント時もロビーを活用し、図書室への誘引を図った。専門職員は、イベント時の来園者が多いとき（特に夏休み）に配置した。
		・書籍紹介、コピーサービス等サービスの充実	H29 以降 (H28 延期)				H29:問い合わせに対し、説明及び図書紹介を実施。資料のコピーサービス（10枚未満無料）を事務室、券売所の2ヵ所で行った。
		②来園者以外からの相談受付					
		・ホームページに問い合わせフォームを設置	H28, H30, H32				H28:問い合わせフォームをホームページに設置。 H29:問合せフォームは引き続き設置しており、イベントの申し込み、施設の貸出受付、植物に関する問合せ等に対応している。
		・よくある問い合わせをホームページに掲載	H28				H28:よくある質問をホームページに掲載。 H29:園内でよくきかれる問合せについて更新した。
		③出張花の文化園					
		・車両の整備	H30				H29:実績なし
		・園外活動の実施	H30～H32				<p>H28:学校ガーデニングの継続(小中学校 18校 21回訪問)、園外イベントへのブース出展継続(中之島公園)</p> <p>H29:学校ガーデニングの継続し、花育を実施(小中学校 19校 24回訪問)、園外イベントへのブース出展継続(舞洲ユリ園、南海難波駅)</p>
		④ボランティアに対する教育					
		・ボランティア養成講座の実施	H29	<p>H28:全15回、52名参加</p> <p>H29:全10回、17名参加</p>			
		・日々の管理の中での専門的な指導	随時	ラン講習、バラ講習、安全講習、その他衛生関係指導実施。			

	(5)花きに関する情報の収集及び提供を行う業務	①誰もが利用しやすい図書館づくり			B	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web 花図鑑「花の散歩道」の充実は、予算確保の上、対応されたい。</li> <li>広報誌を刷新し、発行回数を増やしたことは評価できる。</li> <li>今後も来園者の反応や広報の効果を検証し、広報誌の内容の向上に努められたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、ほぼ提案に沿って実施されたと評価できる。</li> <li>インターネット上での情報公開については提案どおりなされておらず、次年度に対応されたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の再整備（センター棟ホールに拡張、専門職員を常駐）</li> </ul>	H28, H29	H29:図書室横にキッズルームを設置し、保護者の待ち時間の利用も含め、ロビーからの誘引を図った。イベント時もロビーを活用し、図書室への誘引を図った。専門職員は、イベント時の来園者が多いとき（特に夏休み）に配置した。				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌や書籍の充実</li> </ul>	随時	購読者の多い園芸雑誌の継続提供。				
		②インターネット上での情報公開						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>Web 花図鑑「花の散歩道」の充実</li> </ul>	H29, H32	H29:実績なし。来度中に売店店舗内に休憩スペースを設け、専用パソコンを設置し来園者が「花の散歩道」の閲覧ができるようにする予定。				
③広報誌の刷新			B	<ul style="list-style-type: none"> <li>新広報誌の作成（Letter from flowers）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H28:A3サイズのチラシ「Letter from flowers」に統一し刷新。年4回発行した。</li> <li>H29:花やイベント情報をよりタイムリーに伝えるため、A3チラシに代わりA4サイズのチラシ「花の文化園便り」を年7回（約2ヶ月に1回）発行した。また、ホームページ上でも閲覧できるよう掲載をした。デザインは、子ども向けにすることで親しみやすさを出し、新たな客層の獲得につなげた。さらに、「はなぶんサマースプラッシュ」と「奥河内秋の文化祭」は特別にイベントチラシを制作し広報活動を積極的に行った。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、ほぼ提案に沿って実施されたと評価できる。</li> <li>インターネット上での情報公開については提案どおりなされておらず、次年度に対応されたい。</li> </ul>	
④情報収集のためのネットワーク形成								
<ul style="list-style-type: none"> <li>公益財団法人日本植物園協会への継続加入</li> </ul>	毎年	継続加入中。今年度も第52回総会及び10/20に実施された第二分野（園、国立園）運営会議に参加した。 また、日本植物園協会以外にもネットワークを広げるため、今年度も第4回西日本植物多様性保全拠点園交流会に参加した。						
<ul style="list-style-type: none"> <li>海外花き関係団体への加入</li> </ul>	H29～H32	H29:実績なし。英国王立園芸協会日本支部へ加盟をしていたが本園にとっての意義が少ないと判断し脱会、国内の協会での活動、交流を充実していく。						
	(6)花の文化園の維持及び補修に関する業務	①清掃及び施設点検の徹底			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初より危険箇所の把握と改善に努め、専門家の意見も取り入れつつ園内各所の改修・清掃に最優先に取り組んだことは高く評価できる。</li> <li>壁面緑化など老朽化を目立たなくする工夫をされており、評価できる。</li> <li>清掃も行き届いており、評価できる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃チェックリストの作成</li> </ul>	H28	H28, H29:清掃チェックリストを作成し、日常の清掃を徹底するとともに、清掃時に安全点検も行うこととしている。また、月に2回嘱託職員及び植栽担当のパート職員による全体清掃を実施。日常清掃で実施できない部分の清掃を行っている。				

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全基準の作成及び点検実施（点検は随時）</li> </ul>	毎年	<p>園全体の危険箇所について、舗装・安全柵、危険樹木、転倒危険性、その他に分類してリストアップを行い、随時改修及び清掃を実施した。継続実施中</p> <p>&lt;遊歩道&gt;</p> <p>H28:遊歩道の転落の危険性が高く、300mにわたり、木製の安全柵を新設した。</p> <p>H29:梅園、木製階段及び手すりの安全改修。</p> <p>&lt;モミジ谷&gt;</p> <p>H28:舗装の不陸及び階段部を改修した。</p> <p>H29:落枝樹木の剪定、伐採。</p> <p>&lt;階段&gt;</p> <p>H28、29:階段不陸補修。</p> <p>&lt;全体&gt;</p> <p>H28, H29:落枝、倒木の危険が高い樹木の剪定及び伐採を実施。今後も継続</p> <p>H28, H29:苔等により滑りやすく、危険性のある床面を清掃除去実施。今後も継続</p> <p>H28:エントランスのテラコッタドール及びクジラのオブジェは老朽化のため撤去。</p> <p>H28, H29:消防計画書作成の上、消防訓練実施（3月実施予定）。</p> <p>H28, H29:大阪府の建築物点検マニュアルを基に、ISO14000に展開し、年4回遵守状況を確認している。</p> <p>H28:植栽エリアの点検箇所については、樹木医による診断により樹木の健康度の確認を実施した。現在、管理時に日常点検中</p>				
		②各種施設の内装補修							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁紙の張り替え等軽微な補修</li> </ul>	毎年	<p>H28, H29:レストランに本棚、つい立を設置し老朽化した壁面を保護。</p> <p>H28, H29:ガーデンショップの内装を塗り直し。</p>					
		③老朽化を目立たなくする演出							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エスパリエ等の設置</li> </ul>	H29, H31	<p>H28, H29: レストランのファサードにつる植物の誘引。</p> <p>H29:フルルデッキに壁面緑化新設。</p>					
	(7)花きに関するボランティアの育成に関する業務	①花きの専門知識の継続的教育							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動の場の提供及び教育</li> </ul>	毎年	<p>ボランティア活動は毎週火・木・土に実施。園の職員が作業指示及び随時植物管理の教育を行っている。</p> <p>「NPO法人フルル花と福祉の地域応援ネット」の理事会と月に1度合同で会議を行い、ボランティア会員の要望を組み込んだ連携体制及び日々の活動を実施している。</p> <p>園主催のイベントである「はなぶんサマースプラッシュ」のキッズワークショップにおいて、ボランティア会員によるクラフトづくりのブースを実施してもらうなど、協力して園の運営を実施している</p> <p>クリスマスリースとお正月飾りをボランティアと制作し、園の演出を高めた。</p>					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア養成講座の実施</li> </ul>	毎年	<p>H28:全15回、52名参加</p> <p>H29:全10回、17名参加</p>					
						A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案に基づき、今後も植栽展示・イベント・運営全般について様々な変化が伴うため、ボランティアとの意思疎通を密にし、連携体制を強化されたい。</li> <li>・ボランティアを対象とした講習会を充実されたことは高く評価できる。</li> <li>・ボランティア養成講座の参加人数が大きく減少したのは募集期間が短くなったことによることなので、改善し、参加人数の確保に努められたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。</li> </ul>

		②花の栽培以外のプログラムの充実					
		・ボランティアを対象とした各種講習会の実施	毎年	「花の文化園倶楽部活動」を発足。植物に特化した勉強会や活動を月に1度実施している。 (バラ倶楽部、クレマチス倶楽部、樹木・ラン倶楽部、草花・ハーブ倶楽部、自然観察・ガイド倶楽部)。 バラ育種の専門家を招いたバラの講習会 「二番花～夏越しの方法」6/11(日) 「秋バラを美しく咲かせる為のお手入れ」9/17(日) ランの専門家による洋ランの講習会 「植替えの実践と年間管理の方法」6/24(土) 「秋冬に向けての栽培管理」10/1(日) 上記、講習会等はボランティア会員に優先的に案内。			
		・他の園の活動を学ぶバスツアーの実施	H29～32	H29:京都植物園、宇治植物園見学会			
		・ボランティアの活動の支援	随時	毎月「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」の理事会と会議を行い、ボランティア会員の方の要望を汲んだ日頃の活動内容の改善や今後の体制づくりについて検討している。 ボランティア会員のボランティア活動日の入園は無料としている。 ボランティア活動における交通費の補助金を提供している。			
(8)その他施設の管理運営に関する業務(売店、レストラン含む)		①売店			A	・売店、レストラン、大温室休憩コーナーについていずれも提案に沿った取組がなされており評価できる。 ・温室カフェテリアは、来園者の休憩場所を提供するだけでなく、スタッフが常駐しており、お客様対応にも繋がっているため評価できる。 ・授乳室、キッズスペースは、場所を変更されたが、限られた予算の中で工夫して整備しているため、評価できる。	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。 ・レストラン等のメニューを改善し、「食」を売りにして集客を図ることも検討されたい。
		・園の花と連動した商品の充実	H28	H28:園内で生産した植物の販売を行っている。 H28, H29:売店横花壇と売店販売花苗をリンク植栽し、商品の利用イメージが伝わるような展示を行っている。継続実施中。			
		・寄せ植えの販売	H28	H28, H29:花苗単体ではなく、季節の花や季節の行事(母の日、クリスマスなど)に合わせた寄せ植えを作り販売している。			
		②レストラン					
		・プロデューサーを起用した新店舗の検討	H28	H28:プロデューサー指導のもとミドル世代をターゲットにした新メニューの導入、子連れ家族用にキッズスペースを設置済み。			
		・温室カフェテリアの整備	H28, H29	H28:トロピカルフルーツフェアを開催。熱帯果実の盛り合わせやトロピカルジュースを販売、熱帯果実についてのパネル展示、フラダンスのコンサートを実施した。 H29:既存備品の傷んだ部分の塗装、鉢物の植物やハンギングの配置を変更して動線の整備を行い、植物に囲まれたカフェ空間として整備。7月よりカフェ営業を開始。クリスマスにはポインセチアツリーなどを展示し、クリスマス気分を盛り上げた。			
		・ケータリングカーの誘致	毎年	H28:夏休み子ども祭りでは3台のケータリングカーを誘致。 H29:「奥河内秋の文化祭」では2台、「はなぶんファンタジーシネマ」では4台のケータリングカーを誘致。また、随時出展依頼のあったものは受け入れ、園の賑わいを創出した。			
		・休憩所(ベンチ)の整備	H28, H29	H28:既存ベンチの磨き及び再塗装を実施。 H29:レストラン前に円形のテーブルを新設。園内の金属製ベンチの打診調査を行い、危険なものは撤去・補修を行った。			

		③その他施設													
		<table border="1"> <tr> <td>・イベントホールとイベント広場が連動したイベント実施</td> <td>H29～32</td> <td>H28:夏休み子ども祭りの際、イベントホールで各種ワークショップやクラフトづくり体験を行い、イベント広場ではケータリングカーによるにぎわい演出を行った。 H29:「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」と共催のフルル展を開催(10/24-29)し、イベントホールで各種ワークショップを行い、イベント広場では園内栽培の花き類の即売会を行った。</td> </tr> <tr> <td>・花の工房事務室に授乳室を設置</td> <td>H29以降 (H28延期)</td> <td>キッズルームをセンター棟に新設した為、授乳室は現在の施設を活用し、図書室を含めてロビーの活用に変更。</td> </tr> <tr> <td>・花の工房休憩室にキッズスペースを併設</td> <td>H29</td> <td>花の工房に雨漏りがあり冬場の利用時には隙間風が多いため、センター棟ロビーへ計画変更し設置済み。</td> </tr> </table>	・イベントホールとイベント広場が連動したイベント実施	H29～32	H28:夏休み子ども祭りの際、イベントホールで各種ワークショップやクラフトづくり体験を行い、イベント広場ではケータリングカーによるにぎわい演出を行った。 H29:「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」と共催のフルル展を開催(10/24-29)し、イベントホールで各種ワークショップを行い、イベント広場では園内栽培の花き類の即売会を行った。	・花の工房事務室に授乳室を設置	H29以降 (H28延期)	キッズルームをセンター棟に新設した為、授乳室は現在の施設を活用し、図書室を含めてロビーの活用に変更。	・花の工房休憩室にキッズスペースを併設	H29	花の工房に雨漏りがあり冬場の利用時には隙間風が多いため、センター棟ロビーへ計画変更し設置済み。				
・イベントホールとイベント広場が連動したイベント実施	H29～32	H28:夏休み子ども祭りの際、イベントホールで各種ワークショップやクラフトづくり体験を行い、イベント広場ではケータリングカーによるにぎわい演出を行った。 H29:「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」と共催のフルル展を開催(10/24-29)し、イベントホールで各種ワークショップを行い、イベント広場では園内栽培の花き類の即売会を行った。													
・花の工房事務室に授乳室を設置	H29以降 (H28延期)	キッズルームをセンター棟に新設した為、授乳室は現在の施設を活用し、図書室を含めてロビーの活用に変更。													
・花の工房休憩室にキッズスペースを併設	H29	花の工房に雨漏りがあり冬場の利用時には隙間風が多いため、センター棟ロビーへ計画変更し設置済み。													
(9)周辺施設と連携したイベント開催等による地域活性化に係る業務	①木根館との連携	<table border="1"> <tr> <td>・削りくず等のコンポスト化</td> <td>H29以降 (H28延期)</td> <td>H29:実績なし。コンポスト化は自然発火等の危険リスクがあるため連携施設と協議の上で中止とした。</td> </tr> <tr> <td>・園内ベンチ等の製作及びイベント化</td> <td>毎年</td> <td>H28:「夏休み子ども祭り」に合わせ同日にワークショップを実施していただくよう要請。 H29:木根館ほか周辺施設で秋の連携イベントを実施。共同でイベントのPRを行った。園内ベンチ等の制作は、連携施設とは製作費が合わず内部職員にて実施。</td> </tr> </table>	・削りくず等のコンポスト化	H29以降 (H28延期)	H29:実績なし。コンポスト化は自然発火等の危険リスクがあるため連携施設と協議の上で中止とした。	・園内ベンチ等の製作及びイベント化	毎年	H28:「夏休み子ども祭り」に合わせ同日にワークショップを実施していただくよう要請。 H29:木根館ほか周辺施設で秋の連携イベントを実施。共同でイベントのPRを行った。園内ベンチ等の制作は、連携施設とは製作費が合わず内部職員にて実施。							
・削りくず等のコンポスト化	H29以降 (H28延期)	H29:実績なし。コンポスト化は自然発火等の危険リスクがあるため連携施設と協議の上で中止とした。													
・園内ベンチ等の製作及びイベント化	毎年	H28:「夏休み子ども祭り」に合わせ同日にワークショップを実施していただくよう要請。 H29:木根館ほか周辺施設で秋の連携イベントを実施。共同でイベントのPRを行った。園内ベンチ等の制作は、連携施設とは製作費が合わず内部職員にて実施。													
	②くろまろの郷、ふるさと歴史資料館との連携	<table border="1"> <tr> <td>・マルシェや加工品による料理教室の実施</td> <td>H29～H32</td> <td>H28, 29:くろまろの郷施設連携会議へ月1回参加。 H29:奥河内秋の文化祭イベントでは、周辺施設(くろまろの郷ビジターセンター、JAあすかてくるで河内長野店、木根館、ふるさと歴史学習館)との連携強化を図るため、スタンプラリーポイントの設置、フライヤーへの情報掲載を行った。また、ワークショップへの出展協力もいただいている。他施設のイベント開催においては、物品の貸出やポスターの園内掲示の協力を随時行っている。</td> </tr> <tr> <td>・くろまろの郷への花による装飾の提供</td> <td>H29～H32</td> <td>H28:近隣3施設の看板デザインを提供。花鉢の設置。 H29:花の植替えや日常管理は当園で実施。</td> </tr> <tr> <td>・花見ツアーの開催</td> <td>H31～32</td> <td>H29:近隣地元自治会を招待し、夜間ライトアップ花見を実施。</td> </tr> </table>	・マルシェや加工品による料理教室の実施	H29～H32	H28, 29:くろまろの郷施設連携会議へ月1回参加。 H29:奥河内秋の文化祭イベントでは、周辺施設(くろまろの郷ビジターセンター、JAあすかてくるで河内長野店、木根館、ふるさと歴史学習館)との連携強化を図るため、スタンプラリーポイントの設置、フライヤーへの情報掲載を行った。また、ワークショップへの出展協力もいただいている。他施設のイベント開催においては、物品の貸出やポスターの園内掲示の協力を随時行っている。	・くろまろの郷への花による装飾の提供	H29～H32	H28:近隣3施設の看板デザインを提供。花鉢の設置。 H29:花の植替えや日常管理は当園で実施。	・花見ツアーの開催	H31～32	H29:近隣地元自治会を招待し、夜間ライトアップ花見を実施。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺施設と合同でイベントの宣伝やチラシを作成されたことは評価できる。</li> <li>・くろまろの郷利用者へのPRを強化するため、スタンプラリーポイントの設置、フライヤーへの情報掲載を行ったことは評価できる。周辺施設全体での活性化を図るため、今後は相互に連携されたい。</li> <li>・くろまろの郷と花の文化園間の橋に花を装飾するなど、今後も誘導に取り組みされたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。</li> <li>・周辺施設との連携について、周辺施設からの誘導はされているが、周辺施設の利用者に先に花の文化園に来てもらうような工夫をされたい。</li> </ul>
・マルシェや加工品による料理教室の実施	H29～H32	H28, 29:くろまろの郷施設連携会議へ月1回参加。 H29:奥河内秋の文化祭イベントでは、周辺施設(くろまろの郷ビジターセンター、JAあすかてくるで河内長野店、木根館、ふるさと歴史学習館)との連携強化を図るため、スタンプラリーポイントの設置、フライヤーへの情報掲載を行った。また、ワークショップへの出展協力もいただいている。他施設のイベント開催においては、物品の貸出やポスターの園内掲示の協力を随時行っている。													
・くろまろの郷への花による装飾の提供	H29～H32	H28:近隣3施設の看板デザインを提供。花鉢の設置。 H29:花の植替えや日常管理は当園で実施。													
・花見ツアーの開催	H31～32	H29:近隣地元自治会を招待し、夜間ライトアップ花見を実施。													
(10)高齢者、障がい者等への利用援助	①高齢者、障がい者への利用援助	<table border="1"> <tr> <td>・貸出し用車椅子の設置</td> <td>H28</td> <td>H28:車椅子3台修理、ベビーカー5台設置。 H29:車椅子2台設置、パンク修理実施。</td> </tr> <tr> <td>・レイズドベッドの整備およびイベント実施</td> <td>H30～32</td> <td>H29:レイズドベッド整備済み。4月、10月に車椅子に座ったままレイズドベッドを利用した花の植替えイベントを無料実施した。20組ほどの参加。</td> </tr> <tr> <td>・貸出し用音声案内の設置</td> <td>H29</td> <td>H28, H29:地形の問題もありネットワーク環境の不具合があり無線案内の設置を中止し、ガイドツアーの充実化を実施。ボランティアガイドの教育を実施。</td> </tr> </table>	・貸出し用車椅子の設置	H28	H28:車椅子3台修理、ベビーカー5台設置。 H29:車椅子2台設置、パンク修理実施。	・レイズドベッドの整備およびイベント実施	H30～32	H29:レイズドベッド整備済み。4月、10月に車椅子に座ったままレイズドベッドを利用した花の植替えイベントを無料実施した。20組ほどの参加。	・貸出し用音声案内の設置	H29	H28, H29:地形の問題もありネットワーク環境の不具合があり無線案内の設置を中止し、ガイドツアーの充実化を実施。ボランティアガイドの教育を実施。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度に先立ち、提案どおりレイズドベッドの整備およびイベント実施をしていることは評価できる。</li> <li>・貸出し用音声案内の設置取りやめは残念だが、他の手法により障がい者への対応の一層の充実を図られたい。</li> <li>・来園者の要望や意見、職員の気付きについて、職員間で十分に情報共有し、園の魅力を高め来園者の満足度を高めるために活かしていただきたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。</li> </ul>
・貸出し用車椅子の設置	H28	H28:車椅子3台修理、ベビーカー5台設置。 H29:車椅子2台設置、パンク修理実施。													
・レイズドベッドの整備およびイベント実施	H30～32	H29:レイズドベッド整備済み。4月、10月に車椅子に座ったままレイズドベッドを利用した花の植替えイベントを無料実施した。20組ほどの参加。													
・貸出し用音声案内の設置	H29	H28, H29:地形の問題もありネットワーク環境の不具合があり無線案内の設置を中止し、ガイドツアーの充実化を実施。ボランティアガイドの教育を実施。													

			・ヒヤリハット事例等の収集および改善	随時	お客様ヒアリングシート及び気づきシートを作成し、お客様からお聞きした要望やご意見をとりまとめ、随時改善に努めている。 気づきシートは職員自身も利用し、お客様目線での思考、行動面での「気づき」を大切にすよう指導している。		・また来園者の要望や意見については、対応状況について来園者に公表することも検討されたい。		
(11)府施策との整合等	①府が主催、共催、後援する行事・イベントへの協力	毎年	府政学習会への場所の提供及び、無料入園券の提供を行っている。 大阪府が実施の結婚・婚活支援の一環である婚活パーティー開催(9/24)。参加者40名 おおさか生物多様性普及啓発キャンペーン南海エコツアー実施(11/23)。 「高齢労働者就労自立支援事業」の受け入れを行っている。			B	・提案どおり府施策に協力いただけことは評価できる。 ・府内花き生産振興については、昨年度に引き続き、生産者のほ場確認や売店販売用の花苗の仕入れなど、これまでにない取組により府内花き生産振興について積極的に支援されていることは高く評価できる。 ・就職困難者等の雇用については、提案どおり実施できていないため、引き続き、雇用確保に努められたい。 ・来園者数については、公用除く来園者数88,412人(昨年比26%増)、うちパスポート提示・引換含む有料入園者55,157人(同10%増)、障がい者8,968人(同13%増)、中学生以下13,907人(同63%増)、その他無料入園者10,380人(同213%増)となっている。 ・昨年度の課題として挙げた有料入園者数、障がい者数、幼児・小中学生の入園者数がいずれも増加したことは高く評価できるが、入園者数及び出前授業など花の文化園の活動を通して目標20万人を達成するには、更なる集客が必要である。引き続き、PR活動、多様なイベント開催、植栽展示及び植物に関する講習会等の充実に努め、来園者数の増加を図られたい。	C	・利用者満足度調査結果では、来園の動機が「植物が好き」の方には満足しているにもかかわらず、集客増につながっていない状況を鑑みると、来園者数を伸ばすには、植物に関心のない方にも来てもらえるような工夫が必要である。不満足度が高い子ども向け施設(遊具)のサービスとしては、スペース的に大きな遊具を設置するのは難しいと思うので、ダンボールで滑るなど簡易な方法で子どもが遊べる形を検討されたい。 ・また、来園者が増加した要因を分析し、様々な客層に対応した植栽展示、イ
	②府内花き生産振興支援	毎年	大阪府花き連盟より花苗を購入。納品前に圃場での確認を行い、直接生産者と交流することで納品日等の調整を実施している。 圃場点検の際に生産苗を確認し、別途購入手配を行っている。 園内の植栽展示と売店販売を連携させ、売店販売用の花苗を仕入れている。						
	③教育、福祉への協力	毎年	学校ガーデニング事業では河内長野市内の小中学校へ花苗の提供と植付けの指導を実施。(H28:全21校、H29:全21校) 小中学校の生徒による職場体験の受け入れを実施。(H28:9校30名、H29:7校19名) 職場体験では毎年新任の先生方の受け入れも実施。(H28:3校3名、H29:3校3名) こさえたんフェアを実施。(H28:春、秋、H29:秋)						
	④就職困難者等の雇用	毎年	支援センターを介して希望者の見学会を実施。計10名の見学者を受け入れたが、雇用には至っていない。 現在就職希望者を引き続き募り、2名の新規採用に向けて募集を行っている。						
	⑤利用者満足度調査	毎年	春と秋にアンケートを実施。各回500名の方に協力をいただいた。						

		⑥利用者数	毎年	<p>総入園者数は89,588人(1月末 昨年対比 122%)、有料入園者数は40,948人(1月末 昨年対比 110%)である。有料入園者の増加要因については、年間イベント、PRの成果であった。総入園者数についてもイベント効果により1万人程度の増員見込み。また、イルミネーション事業と本年度協賛した事により更に1万人の上乗せが見込まれる。</p> <p>障がい者の入園者数については8,968人(1月末 昨年対比 113%)である。増加要因としてはレストラン利用と合わせての予約を受け付け集客活動を行った結果と思われる。</p> <p>幼児、小中学生の入園者数については、13,895人(1月末 昨年対比 163%)である。増加要因としては夏休みイベント等、子供向けの集客イベントを反映したと思われる。</p>				<p>イベントやレストランメニューを工夫されたい。</p>
I 総括				A		B		

評価項目	評価基準（内容）	実施予定 年度	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
				S～C		S～C	
二 び ら ら る サ ー ビ ス の 向 上 に 関 する 事 項	(1) 施設・ 設備の改修	①平等利用を確保するための施設整備			A	A	・施設所管課の 評価のとおり、 提案された項 目については、 いずれも提案 に沿って実施 されたと評価 できる。
		・園全体の舗装再整備	H29～H32	H28, H29:モミジ谷、階段の整備実施。			
		・車椅子利用者が安全通行可能な園 路に路面サインを設置	H30～H32	H29:実績なし			
		・エントランスゲート近くに車寄せ を新設	H31	H29:実績なし			
		・男女トイレに子供用いす及びおむ つ替えスペースを設置	H31～H32	H29:実績なし			
		・花の工房事務室に授乳室を設置	H29 以 降 (H28 延期)	H29:キッズルームをセンター棟に整備することで、授乳室は現状の施設を活用し、図書室を含めてロビー全体での活用に変更。			
		・花の工房休憩室にキッズスペース を併設	H29	H28:カフェ内にキッズスペースを設置。 H29:花の工房に雨漏りがあり冬場の利用時には隙間風が多いため、センター棟ロビーへ計画変更し設置した。			
		・園内サイン、パンフレットの多言 語化	H29, H30	H29:多言語園内みどころマップ（A4サイズ）整備済み。（中国語、韓国語、英語）			
		・園内各所にベンチやパーゴラを設 置	H29, H31 (H28 延期)	H28:老朽化したものの撤去や修繕可能なものの修繕を実施。 H29:温室前、レストラン前に木製ベンチを設置した。			
		・施設のバリアフリー化(階段のス ロープ化、手すり設置)	H28, H29, H31	H28:遊歩道に手すりを新設。幅広い年代の方に対応。 H29:球根園を車椅子対応に整備済み。			
	・社会福祉施設の職員を定期的に招 いて改善点の指摘を受け入れ、施設 を再整備	H29～H32	H29:実績なし障がい者ご来園時には聞き取りを行ない、休憩室（和室）の利用を頂く等改善中。				
		②エントランスゾーンの改修整備			A	A	・授乳室及びキッズスペースの設置場 所は変更になったものの提案どおり の取組がなされており、評価できる。 ・提案どおり、外国人利用者向けに、 園内みどころマップを整備している ことは評価できる。 ・高齢者、障がい者、子ども連れ等、 すべての方にとってより利用しやす い園とするため、提案にある社会福祉 施設の職員など外部の意見も取り入 れ、引き続き改善を図られたい。
		・外からも装飾花壇を臨むことがで きるように見通しを改善	H28	H28:エントランスのテラコッタドールを撤去し、シマサルスベリを植栽すること でゲートの外からも装飾花壇が見えるように改修。			
		・園内エントランス広場の舗装改修	H30	H29:実績なし			
・シンボルとなるようなサインを設 置		H29 以降 (H28 延期)	H29:エントランス上部へ遠くからでも視認できるサインを設置。より親しみを 持ってもらえるよう“はなぶん”の愛称を強調するデザインとした。 エントランスのシンボルツリーであるシマサルスベリの樹形（影）の映し込み を意図して白をベースとしたカラーリングとした。				
・装飾花壇の勾配変更		H29	H29:実施なし。勾配変更の図面は作成済み。勾配変更工事時期がイルミネー ション開催期間と同時期となった為、工事は来年度に延期。				
・売店にカフェを併設し、コミュニ ティガーデンに座席を設置	H30	H29:3月に改修開始予定。段階的に整備を行う計画とする。					
(2) その他 創意工夫	①提案に基づく業務内容以外の創意工 夫・自主事業の取り組み	毎年	自主事業として、「はなぶんファンタジーシネマ」として屋外映画鑑賞会を実施。 新たな植物園の魅力を発信した。	A	・屋外映画鑑賞会を実施し、新たな植 物園の魅力を発信したことは評価で きる。	A	・施設所管課の 評価のとおり、 提案された項 目については、 いずれも提案

								に沿って実施されたと評価できる。
II 総括					A		A	

評価項目	評価基準（内容）	実施予定年度	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指定・提言
				S～C		S～C	
㊦適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①施設や植栽整備に利益の再投資を行い、「経営」視点の管理運営	毎年 H28, H29:施設の安全を確保、施設コンセプトに見合う改修・サービスに優先的に投資。同時に、集客に向けた準備（コンテンツの充実、宣伝）を行い指定管理3年目からの経営回復をはかる。 植栽管理及び改修の高質化及び作業の安全性の向上を一番に考え、適正価格で住友林業グループの取引業者へ外部委託。 住友林業グループの一員としての総合力で、改修費用、生産原価を抑えることで経費の圧縮を実現。 専門家を招きバラ等の管理指導を受けると同時に、イベント化し来園者に向けての講習とすることで費用の削減と管理の高質化を実現。 業務分担の見直しを行い、チーム間、職員間の情報の共有化を徹底することで、作業の無駄を省き運営の効率化をはかる。	A	・施設の安全確保に向けた改修、樹木の整枝せん定、植栽展示の整理改修など、昨年度に引き続き、来園者満足度向上による集客（収入）増の基礎づくりを着実に進めていることは評価できる。 ・府委託料以外の収入は提案時の収支計画を下回っているため、利益の再投資に向け、更なる有料入園者数の確保、自主事業の強化を図られたい。 ・共同企業体を構成する2法人の経営状況は安定しており、今後も安定的な指定管理業務の遂行が期待できる。	B	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、下記を除き、提案に沿って実施されたと評価できる。 ・施設所管課の評価のとおり、府委託料以外の収入は提案時の収支計画を下回っているため、利益の再投資に向け、更なる有料入園者数の確保、自主事業の強化を図られるとともに、施設や植栽整備への利益の再投資については提案どおりなされておらず、次年度に対応されたい。
		②最新技術の活用や無駄を省いた効率的な管理運営による経費削減	毎年 入園券の発券システムを新たに導入し、発券と同時に入園者の年齢や性別の分類集計を可能とした。今後は集計したデータを活用し、運営の改善を図る。 園内生産の植物を売店で販売することにより、仕入経費の削減に努めている。				
		③安定的な運営が可能となる財政的基盤（法人の経営状況）	毎年 共同企業体のいずれの法人においても安定した経営を継続している。				
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置	毎年 年度当初、管理職員5名、現場雇用職員11名体制で管理運営を始めたが、年度途中で4名の退職者が発生した。そのため1名の嘱託職員を雇用し、パート職員（常勤同等の勤務時間）を3名雇用した。 パート職員については勤務時間の適性をはかりつつ、植栽管理16名（うち2名は前述のパート職員）、レストラン8名、券売、売店6名、管理清掃5名（うち1名は前述のパート職員）、計35名体制で業務にあたっている。 植栽管理についてはエリア毎に主・副担当者の2名を配置、共同して作業にあたることとしている。また、月に2回のミーティングを実施し、情報共有を図っている。 企画担当はパート職員を含めた4名体制で、広報・イベント等企画を実施。見頃の花の年4回の広報誌他の広報媒体の作成、ホームページ等の更新、イベントの企画・運営、イベントホール等の使用誘致及び調整を行っている。	A	・管理職員の異動はやむを得ないものの、常勤、非常勤ともに現地雇用職員の退職に伴う入れ替わりが大きい年となった。 ・運営体制の維持、強化を図るため、新規採用職員の研修を充実させるとともに、職員間及び指定管理者とボランティア間の意思疎通及び運営方針の共有に努められたい。	A	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、ほぼ提案に沿って実施されたと評価できる。

		③ 職員の指導育成体制は十分か	毎年	<p>住友林業緑化社実施の安全大会への出席、I S O研修等の住友林業グループの教育の場に嘱託職員も参加。</p> <p>毎朝の朝礼において危険作業等の是正事項の指導を実施。</p> <p>職員が常駐する各部屋に住友林業グループの環境方針を掲げ、定期的に確認を促している。</p> <p>職員自らが改善点に気づき、働きかけることができるよう「気づきシート」の作成を実施。管理者が回答を記入したものを全職員に回覧。</p> <p>ガーデンチーム及びプランニングチームは毎月2回程度の定期ミーティングを実施、職員の意識共有を図っている。</p>				
Ⅲ 総括				A		B		